



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）76 名（うち指導医数 24 名）
- 研修医数 1 年目 4 名 2 年目 2 名
- 研修医の主な出身大学 北里大学・名古屋大学
- 診療科 内科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科
腎臓内科 内分泌・代謝内科 リウマチ膠原病内科 精神科
小児科 外科 消化器外科 呼吸器外科 乳腺外科
整形外科 形成外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科
眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科(全 27 科)
- 1 日平均外来患者数 712 名 ● 1 日平均入院患者数 234 名
- 主な認定施設 災害拠点病院、埼玉 DMAT・埼玉 SMART（特別機動援助隊）指定病院、
厚生労働省 臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院 ほか



研修プログラムの特色

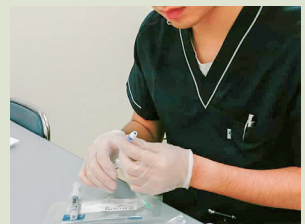
臨床研修医が2年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。

2年次には自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。臨床研修医が2年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。

2年次には自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。



プログラム 例 北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急部門			麻酔科	外科	小児科
2年目▶	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択								

○1 年次

内科 24 週、救急部門 12 週（うち麻酔科 4 週）、自由選択（4 週）、外科（4 週）、小児科（4 週）

○2 年次

産婦人科（4 週）、精神科（4 週）、地域医療（4 週）、自由選択（40 週）

自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科において、希望の診療科と調整の上決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年次：約 30 万円／月 2 年次：約 33 万円／月
 諸 手 当 ▶ 時間外手当、住宅手当、宿日直手当、救急手当等
 保 険 ▶ 私学共済保険、私学共済年金、労災補償保険、雇用保険
 勤務時間 ▶ 8 時 30 分～17 時
 当 直 ▶ あり（3～4 回／月程度）
 休 暇 ▶ 日曜日、祝日、第 2・第 4 土曜日年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
 創立記念日（11 月第一土曜日）有給休暇：1 年次 12 日 2 年次 16 日
 夏季 5 日、その他慶弔時
 宿 舎 ▶ あり（自己負担：1 万円＋電気代）
 そ の 他 ▶ 奨励金：年 2 回支給
 1 年次 20 万円（上限額）2 年次 40 万円（上限額）

主な臨床研修協力病院 協力施設



- ・北里大学病院
- ・北里大学 北里研究所病院
- ・埼玉県済生会鴻巣病院
- ・東京ベイ・浦安市川医療センター
- ・渡辺医院
- ・サンビレッジクリニック鴻巣



当院の魅力

スキルアップ支援とコミュニケーションの充実

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。職種間の垣根も低いので多職種とのコミュニケーションがとりやすい環境です。職種をこえて研修をサポートします！

- 例) 輸液療法・ルート・ポンプの扱い方 (主催：看護部)
日本肝癌研究会提唱の肝細胞癌診断アルゴリズム (主催：放射線部)
検査技師による採血指導 (主催：検査部)
血液像の読み方 (主催：検査部)
抗菌療法のABC (感染対策室)・・・等々

全診療科が同じ医局を使用しており、そこに研修医の机を配置することで、診療科の垣根を越えたコミュニケーションがとりやすい環境です。上級医との信頼関係も築きやすく、「相談しやすい・コミュニケーションがとりやすい」と研修医から好評です。

医局とは別に「臨床研修医室」も設けているため研修医だけの環境もあり、適宜自分の時間を確保できるよう配慮しています。



研修責任者から message



臨床研修センター長
長場 泰

大学病院 VS 市中病院、多くの医学生がまず最初に悩むことです。北里大学メディカルセンター（地域支援病院）は、埼玉県県央地区の中核的医療施設として機能しており、北里大学の分院として、大学本院（特定機能病院、相模原市）と北里研究所病院（都市型救急病院、東京白金）との連携を行い大学病院的な医療と地域医療をバランスよく研修することが可能なプログラムを提供しています。3病院の自由選択期間（2年目の6か月間）を設けることにより、プライマリケアから高度先進医療まで、希望する研修を行うことが可能です。また北里大学は薬学部、看護学部、医療衛生学部などを有する医療系総合大学であり診療科や職種を超えたチーム医療を重視しています。「市中病院も大学病院もどちらも経験できる研修プログラム」そんなうまい話かと思ったあなた、ぜひ当院へ見学に来てください。



先輩研修医から message



研修医 1 年目
小川 大輔

当院は埼玉県県央地区の拠点病院として様々な common disease を経験できると同時に、北里大学の関連施設であるため専門的な検査や治療を必要とする疾患も診ることが出来ます。研修プログラムは自由度が高く、北里大学病院においても研修することができ、自分の希望に沿った研修をすることが可能です。中規模病院であり、各科の医師同士・コメディカルスタッフ間の距離が非常に近く、様々な方面からたくさんの指導を受けられとても力がつきます。

医局では診療科を超えて症例について相談し合う場面が多くあり大変勉強になります。研修医が少ない分、多くの症例を経験でき、手技も遅れをとりません。

地域に根付いたアットホームな雰囲気のある当院で、優しいスタッフと一緒に医師生活をスタートさせましょう！一同心よりお待ちしております。



女性医師支援コーナー

○保育園「オレンジハウス」

豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。

夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週2回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。

○病児保育室あり 定員：3名



連絡先 北里大学メディカルセンター

人事課 人事・教育研修係

〒364-8501 北本市荒井 6-100

TEL ▶ 048-593-1212 (代表) FAX ▶ 048-593-1239

E-mail ▶ k-rinsho@kitasato-u.ac.jp

URL ▶ <http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/>

アクセス ▶ JR 高崎線北本駅からバス約15分位



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学 随時受付中です。いつでもお気軽にご連絡下さい。